

我が子の将来のため情報収集

桃山会

ライフプランナー招き勉強会

子どもの自立をできる限りの支援したいと思うのが親心。発達・知的障がいのある子どもを持つ親たちのサークル「桃山会」（中村優子代表）では「（子どもの）将来のお金について考えよう」と10

月14日、活動拠点にしてある総合福祉センターで勉強会を開きました。講師はプルデンシャル生命保険のライフプランナー渡邊麻由美さん。プロによる初のレクチャーとあって、期待感が高く真剣に耳を傾ける参加者たち。まずは「ワーク資料」に基づいて家系図を

作成し、「我が家の将来をイメージ」することからスタート。18歳以降の進路や生涯設計など目標達成のために「少しでも早く多くの情報を集めておくことが大切です」と渡邊さん。

「学校選択と教育資金」「就労の賃金」「住まい」「福祉サービス利用

料」「老後資金」「親なきあとの資金準備・管理や契約」など親が今一番知りたい事をまとめて、シリーズに沿って分かりやすく丁寧に説明しました。

「今から情報を集めておくことによって、子どもたちの将来

の選択肢や生活の心配が軽減されます」と参加者ら。同会メンバーは、子どもたちのために輝く未来ある社会を目指し、



勉強会を受講する桃山会のメンバー

エネルギーに活動を続けています。